

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月11日

【評価実施概要】

事業所番号	0174300517		
法人名	医療法人社団 田中医院		
事業所名	グループホーム らべんだあ		
所在地	北海道厚岸郡厚岸町門静1丁目76番地 (電話) 0153-53-2000		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月4日	評価確定日	平成22年3月1日

【情報提供票より】(平成22年1月19日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年9月15日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤 人, 常勤換算 5.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	10,000~13,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(30,000円) / 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		円	1ヶ月

(4) 利用者の概要(1月19日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5	3名	要支援2			
年齢	平均 87.8歳	最低	78歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 田中医院・町立厚岸病院・秋田歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体である医療法人との連携により、医療面やリハビリにも力を入れている。医師や看護師が毎日のように訪れ、年に1~2回は医師からご家族へ現在の状況や今後考えられるリスクなどを伝えながらご家族の質問などにも答え、話し合いを行う時間が設定されている。ホーム内でのリハビリテーションやレクリエーションのプログラムが毎日行われる他、週1回パワーリハビリテーションにも通っている。職員は研修や資格取得に関する意欲も高く、得られた知識を実践し利用者の思いを受け止め、安全にも配慮しながら本人の思いが最大限叶えられるようにしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題はなかった。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価には時間をかけ、自己評価表を数項目ずつ会議時に検討して制作した。今回の評価に関する話し合いを通して、権利擁護に関する学習会の開催に関する希望や、今後の地域住民や利用者が共に楽しみ、広がりをもてる行事のあり方など具体的な話し合いを行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、2か月に1回行われている。主な主題は 家族からの要望、同法人家族報告会参加 行事計画について、運営推進会議予定及び報告 警察地域課からSOSネットワークについて、長寿を祝う会 避難訓練、災害対策について 町からの説明
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族から意見、苦情等が聞かれた場合には会議時等に職員全員で話し合い、運営に反映させている。また、家族来訪時には、なんでも言ってもらえるような関係作りや雰囲気作りを心掛けている。ホームには町の介護相談員が毎月1回訪れ、相談に当たっている。外部の苦情相談窓口は誰でもが見られる場所に貼り、重要事項説明書にも記載している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	ホームの行事や避難訓練などの案内は利用者と一緒に配布している。地域の方が草刈りに来てくださったり、利用者のお友達が訪ねてくださったり近所の方から花をいただくなどの交流も増えている。避難訓練にもご参加いただいております。ホームからも地域の行事に積極的に参加している。図書館の運営推進会議の委員としても協力している職員もいる。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員が話し合い、ホーム独自の理念を作りあげている。利用者及び利用者代理人・身元引受人の権利のなかでも「地域の一員として生活をし、選挙その他一般市民としての行為を行えること」を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全員で共有できるように、誰でもが見られる場所に理念を掲示しているほか、ミーティングや申し送り、日々のケアに関する話しにも取り上げ具体化できるように取り組んでいる。管理者・主任会議でも話し合い、職員に伝えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	認知症対応型通所介護開始後1年が経過し、ご近所の方が来てくださっている。避難訓練や行事などの開催案内は都度案内状を送付、又は利用者さんと共に配布して参加のお誘いをしている。草刈りに来てくださる方もいる。地域の行事にも積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は10月頃から範囲を決めて少しずつ、会議時などに全員で話し合いをして作成している。話し合いを通して行事の広がりや楽しく過ごしてもらえる方法についての話し合いを行ったり権利擁護等の学習会開催についてなども話し合われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	ホームの運営や取り組み状況などについて意見や話し合いを行いサービス向上に活かしている。ご家族全員に運営推進会議の案内を行い、話し合われた内容については職員・ご家族に必ず報告している。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	町の福祉課から毎月1回、介護相談員が派遣され、利用者とコミュニケーションを取りながら意見、不安、苦情なども聞き取ってくださっている。このほかにも様々な形で町のかかわりがあり、連携しながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月、写真などを添えた手書きのお便りに金銭出納帳のコピーを添えて報告している。必要時にはその都度電話連絡などで詳細に報告したり、来訪時などにも様子を知らせている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見、不満、苦情などは良い施設となるために改善すべき点と受け止め、ご家族にも伝えられている。意見や苦情は、必ずミーティング等で話し合い、報告し運営に反映させている。運営推進会議はご家族全員に案内し外部者へ意見等の表明ができる機会をつくっている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	今年度の離職は結婚して遠方に行った一人のみとなっている。また、異動もできる限り少なくなるよう努力している。異動があった場合には以前からかかわりのあった職員がフォローするようにしている。異動になった職員も訪問してくれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内研修の他、グループホーム協議会の研修にも積極的に参加している。研修参加後にはユニットだけでなく法人内でも周知されるよう伝達講習を行っている。職員の資格取得に対しても法人として協力し、介護福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士などを多くの職員が目指している。</p>		<p>介護支援専門員試験対策のための勉強会を行ったり、介護支援専門員及び介護福祉士2次試験対策用のDVDの貸し出しなども行っており、今後も職員の資格取得等に協力をしていこうとしている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>これまでグループホーム協議会を通じての、交換研修を行ってきた。また、研修会等での交流や近隣のグループホーム職員との交流も行い、サービスの質の向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>3年間ほど利用者の入退居はないが、空き室ができた場合は相談を受けた時点で家庭訪問し、困っていること・不安・生活歴などの把握をしている。その後、事業所を見学してもらっている。指定認知症対応型通所介護も行っており、別ユニットでは通所の中で馴染みの関係ができ入居に至ったケースもある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>掃除やテーブル拭き、裁縫、洗濯物たたみ、洗濯物干しなどをしていただいたり、動くのが大好きな方には倉庫からのもの運び、漁師さんだった方にはお魚をさばいてもらったり切り身にしてもらうなど、お得意なことをしていただいている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日常の会話の中で利用者の希望や意向の把握に努め、同業だった方や同じ地域で暮らしていた方たちなど共通の話題で過ごせる時間なども大切にしている。言葉にならない場合にも目で訴えられたことを言葉にするなどして確認するようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員が利用者の話を聞き、管理者等がご家族の訪問時に意向を確かめ、介護支援専門員がアセスメントシートをもとに課題を分析し、他職員や必要に応じて作業療法士、医師などの意見も取り入れて介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じての見直し以外にも、利用者が訴えたことを記録したり、センター方式を参考にしながら担当者及び他職員の気づきをもとに話し合い現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>パワーリハビリテーション及び指定認知症対応型通所介護を行っている。もとの家の近所などなじみの場所や住んでいた地域のお祭りに行きたいなど本人の希望が実現できるように支援している。図書館バスにも来てもらっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>日曜・祭日以外は毎日、母体法人の院長の往診がある。又、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても説明が行われている。その他の医療機関については本人や家族の望むところに通院している。看護師は毎日訪問している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居後半年に一回程度、また、その時の状態に合わせて母体法人の院長の面談があり医療や今後考えられるリスクなどに関する説明や話し合い、家族の要望の確認を行っている。必要に応じて医師に問い合わせなども行い、医療行為が日常的に行われる状態にならない限り対応してきている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄誘導・おむつ交換等はプライバシーに配慮した対応ができるよう話し合わせ実施している。また、記録の扱いについても十分に配慮されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>だいたい食事時間などは決まっているが本人の希望をできる限り優先し食事のペースや食べる場所にも配慮している。好きなテレビ番組があるときには遅くまで起きていたり、外出・散歩など希望に添って過ごせるよう心掛けている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	1か月分のメニューをつくり、管理栄養士に相談して決定しているが、食べたいものを聞いたり、新鮮な魚の差し入れなどに応じてメニューの変更も行っている。また、野菜や魚の下ごしらえ、後片付けなど、できることを活かしながら利用者とともにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前中から夕方まで、できる限り各々の希望の時間に入浴できるようにしている。カレンダーにシールを貼るなどしてご自分で入浴日を管理している方もいる。又、入浴剤をご希望される方などもいるので、それぞれに入浴を楽しめるように工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	牛乳パック切りや食事の準備や後片付け・掃除機かけ・粘着カーペットクリーナーかけ・テーブル拭き・おしぼりたたみ・畑作り・草取りなど一人ひとりの生活歴や力を活かした役割や、編み物や習字などの趣味、散歩・買い物・歌などを楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の散歩や買い物、隣接している東屋での外気浴・畑仕事・プランターの水やり・外のベンチで歌や食事を楽しむ。向かいのグループホームを訪問し同じ地域の出身の方や話の合う方と談笑するなどその日の希望に添って出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員全体が鍵をかけないことの重要性を認識し話し合いを行っている。鍵をかけている時間帯にもご自分で解錠して外出される方もいらっしゃるの職員間の連絡を密にしながら希望等には添えるようにしている。		今後も安全に出かけられるよう工夫をしながら対応を検討していこうとしている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>近隣への訓練の案内は利用者と共に配布し、ご家族や近隣住民などにもご参加いただいて夜勤者が一人で勤務しているという想定での訓練も行われている。利用者にも実際に避難をしてもらうほか、職員によるシーツでの搬出訓練も行われている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事摂取量、水分量が記録されている。献立は管理栄養士にチェックしてもらっている。月に1~2回、管理栄養士の訪問があり個々に対してのアドバイスをもらっている。塩分測定器も使用している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は広く、ソファや食卓テーブルなどを利用者個々が思い思いの場所で過ごせるよう利用者に合わせた模様替えも行っている。脱衣所のかごは洗濯スペースと共通の棚で仕切られ、脱いだ衣服はかごのまま受け取り、着替えを入れて元の棚に置くようになっている。共用空間の壁には利用者の作品や季節の飾り等も掲示されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には孫やひ孫の写真、季節の飾りなどが置かれている。家で使っていたタンスや形見の品など本人にとって大切なものやミニ鏡台、ポットなど日常的に使われるものや置いておくと安心できるものが用意され安心できる場所となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。